

# 先輩職員の体験談・メッセージ

【学芸員（考古学）】（教育委員会文化財課） 鶴久森 彬（平成28年度採用）

私たちは「過去」と「未来」をつないでいきます。

## ある1日のスケジュール

準備	8:15	出勤
	8:30	始業
デスクワーク		
	9:30	
試掘調査		
	12:00	
休憩	13:00	
現場立会		
	15:30	
デスクワーク		
	17:15	終業
片付け	17:30	退勤



埋蔵文化財確認のための試掘調査の様子

### 1. 現在の仕事の内容と、やりがいを教えてください。

- ・埋蔵文化財を担当しています。市内の埋蔵文化財包蔵地で開発を行う場合、事業者に対して、遺跡を残して開発を行ってもらえるように協議して、開発と文化財保護の両立を図っています。
- ・遺跡が破壊される場合、事業者には発掘調査の時間と費用の負担をお願いすることになるため、必要性を理解してもらい難しさはありますが、未来に遺跡を記録保存するためのやりがいのある仕事です。

### 2. 職場の雰囲気はどうですか？

- ・困った時に相談に乗ってくれる先輩が周りに多くいて心強いです。
- ・学芸員の先輩は、それぞれの専門を持ち、経験豊富な方ばかりなので、仕事で関わっていく中で大変勉強になります。また、「えっ、そうだったの！」という新たな発見とマニアックな話が聞けます。
- ・休暇も取り易く、短時間勤務や時差出勤など活用される方もいる、とても環境の良い職場です。

### 3. 仕事で苦労した体験や、乗り越えたことはありますか？

- ・平成30年西日本豪雨に被災した史跡の災害復旧工事を行うため、地元や愛媛県との協議を重ねて工事まで辿り着いたことです。周りの先輩方の助言を受けながら、工事まで辿り着けたこと、また、そのやり取りの中で自分が大きく成長できました。史跡の災害復旧はまだ道半ばですが、国民的財産の文化財を守っているという誇りを持って、工事が進むよう尽力したいと思います。（R4.11.1現在）

### 4. 学芸員を目指す方たちへ、一言メッセージをお願いします。

- ・仕事は実務を通して初めて知ることばかりですが、様々な種類の文化財に関わることで、多くの知識を得ることができます。
- ・文化財保護は素早い判断、対応だけでなく、100年後先の未来へつないでいくことも求められる大変な仕事ですが、国民的財産の文化財を守っているという誇りを持って仕事ができる、やりがいのある仕事です。みなさんと一緒に働けることを楽しみにしていますので、是非挑戦して下さい！